

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	與那有伸	学年(渡航時)	2年
派遣先大学	オックスフォードブルックス大学		
国・地域	英国		
派遣期間	2026 年 1 月 ~ 2026 年 5 月		

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Political Philosophy	フランス革命を起点に主要な政治思想を学び、自由主義とそれへの批判的思想を理解し、現代政治用語と思想間の関係を把握する。
Culture, Gender, and Sexuality	性・ジェンダー・セクシュアリティの基礎概念と理論を学び、フェミニズムやクィア理論を通じて多様な性のあり方とその社会的構築を理解する。
Stigma and Dehumanisation	民族・性的指向・障害を理由とする差別やスティグマの歴史を学び、医学・社会科学が非人間化的言説の形成に果たした役割を理解する。
Tandem Language Learning	英語と日本語話者が協働し会話を通じて語学力と相互文化理解を高め、特に口頭コミュニケーション能力の向上を目指す。

留学レポート(1,500 字以上)

議会制民主主義や資本主義の源流のイギリスで、歴史や思想を学ぶためにこの大学を選びました。オックスフォードはさまざまな国籍、人種、言語、文化が入り混じった空間です。いろんな友人ができました。ルームメイトはイギリス、インド、ロシア出身者でした。キッチンに行くとき大抵誰かいるので、食事を共有したり、毎晩のようにおしゃべりをしました。インドの彼とは定期的に本場のインドカレーを作りました。ロシアの彼とはウクライナ戦争などの会話も交わしました。彼は徴兵回避するために英国留学を選択しました。戦争から完全に逃れられないやせなさを語ってくれました。ルームメイトはみんな落ち着いたナイスガイで、居心地は良かったです。授業は、講義とディスカッションで構成されています。少人数形式で先生との距離が近く、気になったことはすぐ聞けました。テスト・エッセイ課題、プレゼンがありました。思い返すと大変でしたが、シラバスと授業資料をよく見て、出席すれば単位の心配は要らないと思います。最初の 2 週間ほどは履修登録の変更ができるので、1 回見学してから決定することをお勧めします。イギリスでいう 2 学期目に留学したので、寮の雰囲気比較的落ち着いていると聞きました。1 学期目はパーティー三昧だったそう。半年は正直物足りない気もしますが、1 日 1 日が新鮮な分濃厚な思い出になると思います。

< 学校設備 >

大学内にはカフェや自習スペースが多く設置されている。学内には生協があり、夜遅くまで営業している。図書館は 24 時間利用可能。電子書籍も多く勉強しやすい。

< 生活 >

外食はラーメン一杯で 3000 円ほど。自炊すれば、食費は日本より少し高い程度。いろんなスーパーがあるので、安いところを見つけるといい。米はアジアスーパーで日本と同程度が安く手に入る。料理道具・食器は買ったものと前にいた先輩が残してくれたものを使った。気に入ったものを一から揃えると高いが、低クオリティの安い店はある。寮の暖房は信用できない。寒いので現地で布団を 2 枚購入した。何を揃えるにも共通するのだが、市街地(City Centre)のショッピングモールに行けばなんでも手に入るが、お金が飛ぶ。安いホームセンターなどが便利だった。

< 町 >

オックスフォードは美しい街並みが特徴的。City Centre には商業施設や飲食店が集まっている。観光客も多く活気がある。

<寮>

大学から徒歩 5 分の Wornford Hall に住んだ。キッチンやシャワーなどは共同。共用スペースも広く、フラットメイトとの交流の場になる。騒音問題は僕のユニットにはなかった。ランドリーは共用。1 回 3 ポンド(650 円ほど)。乾燥機は無料。

<旅行>

オックスフォードからロンドンへはバス一本でアクセス可能。24 時間運行の Oxford Tube は利便性が高い。大学主催の日帰りツアーが月 1 ほどであった。30 ポンド程度(6500 円ほど)。ホルテンシアの元ルームメイトに会いにベルリンに行った。

<実用アドバイス(カード・気候)>

キャッシュレス決済が一般的。クレジットカードやスマートフォン決済の準備が不可欠。クレカやデビットカードを Apple pay に紐付けして財布は使わなかった。現金を求められた時のために、スマホ裏に札を入れていた。天候が変わりやすく雨も多い。折り畳み傘の持参をお勧めする。冬季は日照時間が短くて曇っている。春の天気は最高。街を散歩して、土地勘ができると居心地が良くなると思う。

<治安>

治安は心配していたが、オックスフォードは比較的治安が良いと感じた。ロンドンも中心地は治安が良い。しかし、現地の学生によると、正直治安が良い悪い地域に分けることは難しくいつもは安全な場所なのに窃盗被害に遭うこともあるそう。僕は一度もそのような体験はしなかった。運にもよると思うので最低限気をつければ心配しすぎることはないと思った。

<後悔したこと>

電源プラグと電圧の違いのため、持参したドライヤーが使えなかった。

僕も先輩の留学報告書を参考に準備を進めましたが、実際現地に到着してみると報告書と違う点もありました。想定外のことも多々あると思うので、いろんな人やものに頼ってください。

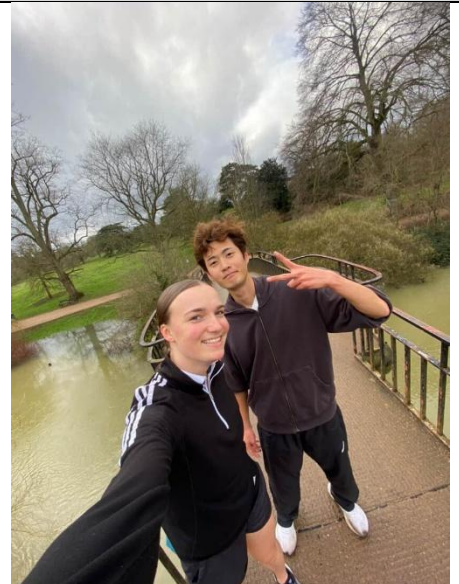
留学中の写真(10 枚程度) ※写真のキャプションをファイル名にすること。



週末には友達らと Movie Night をした



寮の共有スペースで Wood Carving をしている様子



定期的に街探検も兼ねて、ランニングをしていた



日本人コミュニティで出会った方々とパーティ



日本の味の素チャーハンが食べたいとのこと
で振る舞った。他にもカツカレーや海苔巻き
を作った。



クラブにも何度か行った。割と一般的でコミュ
ニケーションの機会にもなる。



イギリスは食も多文化でいろんな国の料理を
食べた。イタリア人の友達が作ってくれたラサ



シチューを振る舞った夜。右の彼がムスリム
なのでハラール肉を使った。



ドイツ旅行の際にベルリンの壁の前で撮った
写真。右は元ルームメイトのドイツ人。



何度も一緒にカレーを作ったインドの友達。彼
は料理するのが初めてで時間がかかった。